

# CASBEE® 広島

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレディア中広町レジデンス	階数	地上13F
建設地	広島県広島市西区中広町3丁目19-	構造	RC造
用途地域	準工業地域、指定無し	平均居住人員	235 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年1月21日
敷地面積	2,204 m <sup>2</sup>	作成者	柴崎 和彦
建築面積	564 m <sup>2</sup>	確認日	2019年1月21日
延床面積	5,318 m <sup>2</sup>	確認者	柴崎 和彦



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 72% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 72% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 72% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境 (スコア= 3.4)

音環境	4.1
温熱環境	2.6
光・視環境	3.3
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能 (スコア= 3.3)

機能性	4.1
耐用性	2.6
対応性	3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内) (スコア= 2.4)

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー (スコア= 3.6)

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備インスレ	4.2
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル (スコア= 2.8)

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.6

#### LR3 敷地外環境 (スコア= 2.8)

地球温暖化	4.1
地域環境	2.3
周辺環境	2.0

### 3 広島市の重点項目

**重点項目の総平均スコア = 2.8**

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.0	スコア = 2.1	スコア = 2.9
<b>設計の計画し特段に配慮した事項</b> //エコジョーズ(熱回収給湯器)の採用。//節水型便器、節水器具を採用。/LED照明を採用し、省エネルギーに配慮。	<b>設計の計画し特段に配慮した事項</b> /	<b>設計の計画し特段に配慮した事項</b> 日本住宅性能表示基準 劣化対策等級3相当。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される